



2022年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年5月13日

上場会社名 株式会社レオクラン

上場取引所 東

コード番号 7681 URL <https://www.leoclan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉田 昭吾

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 筒井 照己

TEL 06-6387-1554

四半期報告書提出予定日 2022年5月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年9月期第2四半期の連結業績(2021年10月1日～2022年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|------|-------|------|-------|----------------------|-----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年9月期第2四半期 | 18,756 | 11.1 | 771 | 9.3 | 824 | 4.5 | 545 | 7.2 |
| 2021年9月期第2四半期 | 16,878 | 36.8 | 850 | 886.9 | 862 | 882.7 | 588 | |

(注) 包括利益 2022年9月期第2四半期 554百万円 (11.2%) 2021年9月期第2四半期 623百万円 (%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年9月期第2四半期 | 278.45 | 277.57 |
| 2021年9月期第2四半期 | 301.15 | 299.99 |

(注) 2021年9月期第2四半期の親会社株主に帰属する四半期純利益及び包括利益の対前年同四半期増減率は1000%を超えるため「 」と記載しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2022年9月期第2四半期 | 16,056 | 5,629 | 34.1 |
| 2021年9月期 | 12,964 | 5,159 | 38.8 |

(参考) 自己資本 2022年9月期第2四半期 5,482百万円 2021年9月期 5,033百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年9月期 | | 0.00 | | 40.00 | 40.00 |
| 2022年9月期 | | 0.00 | | | |
| 2022年9月期(予想) | | | | 50.00 | 50.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年9月期の連結業績予想(2021年10月1日～2022年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|------|------|------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 27,759 | 5.4 | 750 | 30.3 | 800 | 34.4 | 520 | 33.0 | 265.32 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2022年9月期2Q | 1,960,800 株 | 2021年9月期 | 1,960,800 株 |
| 期末自己株式数 | 2022年9月期2Q | 79 株 | 2021年9月期 | 79 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 2022年9月期2Q | 1,960,721 株 | 2021年9月期2Q | 1,954,464 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 11 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 11 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 11 |
| (会計方針の変更) | 11 |
| (セグメント情報等) | 12 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(1) 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間中も、新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナ）の流行は収束せず、まん延防止等重点措置が引き続き発令され、経済活動は引き続き大きな制約を受けました。世界経済に眼を転じて、新型コロナの流行の長期化が天然資源や半導体などの産業資材の生産・供給体制に影響を与えているところに、2022年2月にはロシアがウクライナに軍事侵攻を開始しました。石油などの資源価格の高騰には拍車がかかり、ロシアに対する経済制裁の影響も十分に織り込まれていない面もあって、今後の世界経済の動向は不透明感がいっそう強くなりました。

当社グループの主要なお客様となる医療機関は、新型コロナへの対応を最優先にしておられます。医療提供体制への負荷は極めて大きく、さまざまな課題も浮き彫りになっています。新型コロナの患者さまに対する医療と他疾患等の患者さまに対する医療との両立、病床の確保と症状の程度に応じた医療機関間の役割分担等、地域ごとの適切な医療提供体制の再構築といった眼前の課題の解決に向けた動きに加え、これまで議論されてきた「地域医療構想」の実現に向けて各医療機関の統合・再編を含めた病床転換が進み、新築、増改築を伴う大型の設備投資が見込まれるものと考えております。

このような状況の中、当社グループの主要事業である医療機関向けのメディカルトータルソリューション事業は、これまでの納入実績を背景に、新築・移転、再編・統合等に伴う医療機器の一括販売のみならず、最新鋭の医療機器及び医療情報システム(電子カルテ等)の新規導入や更新に伴う販売を全国に展開しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は18,756,539千円（前年同期比11.1%増）となりました。営業利益は771,479千円（同9.3%減）、経常利益は824,338千円（同4.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は545,971千円（同7.2%減）と昨年同期比減益という結果になりました。

セグメントごとの業績を示すと、以下のとおりです。

① メディカルトータルソリューション事業

当事業は、前連結会計年度に続き、今期も感染の予防対策を講じたうえで積極的な営業活動を展開しております。当連結会計年度は第1四半期連結累計期間への偏重が強かったものの、第2四半期連結累計期間ではほぼ計画通りの売上高を確保し、前年同期に比べて増収となりました。営業利益については、今期は若干粗利率の下がる2,000百万円超の大口案件を複数件獲得したことにより全体の利益率を押し下げたために前年同期に比べて56,506千円減少いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は18,225,798千円（前年同期比11.7%増）、営業利益は724,880千円（同7.2%減）となりました。

② 遠隔画像診断サービス事業

当事業は精度の高い遠隔画像診断を提供すべく、高い診断技術を有する放射線診断専門医の安定的な確保により、安定した業績を維持しております。今年度は取扱い高の増加により4,091千円と若干の増収となったものの、専門医への業務委託費と人件費の増加により、営業利益は前年同期に比べて4,621千円減少いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は331,588千円（前年同期比1.2%増）、営業利益は40,993千円（同10.1%減）となりました。

③ 給食事業

当事業は、前連結会計年度第4四半期の後半における大口顧客の契約解除の影響を埋めるべく、受託施設の新規獲得の営業活動に加え、既存契約施設への取扱い高強化に取り組んでおりますが、未だ回復の途上にあります。売上高は36,132千円の減収、営業利益は17,916千円の減益となり、当第2四半期連結累計期間の売上高は199,153千円（前年同期比15.4%減）、営業利益は4,185千円（同81.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3,052,557千円増加し、14,807,587千円となりました。これは、商品及び製品が134,500千円減少したものの、受取手形、売掛金及び契約資産(前連結会計年度末は受取手形及び売掛金)が2,600,119千円、現金及び預金が596,899千円増加したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて38,910千円増加し、1,248,720千円となりました。これは、有形固定資産が15,400千円、無形固定資産が4,966千円減少したものの、投資その他の資産が59,276千円増加したことなどによるものです。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3,091,467千円増加し、16,056,307千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2,557,209千円増加し、9,451,668千円となりました。これは、主に賞与引当金が21,250千円減少したものの、買掛金が2,539,495千円、未払法人税等が71,844千円増加したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて64,557千円増加し、975,247千円となりました。これは、社債が8,750千円減少したものの、役員退職慰労引当金が33,800千円、退職給付に係る負債が33,477千円増加したことなどによるものです。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,621,767千円増加し、10,426,915千円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて469,700千円増加し、5,629,392千円となりました。これは、主に利益剰余金が467,542千円増加したことなどによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ596,899千円増加し、5,985,621千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、741,985千円(前年同四半期は2,800,468千円の増加)であります。資金の増減の主な内訳は、売上債権の増加2,600,119千円、法人税等の支払額195,552千円があったものの、税金等調整前四半期純利益824,338千円、仕入債務の増加2,539,495千円、棚卸資産の減少134,662千円があったことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、33,878千円(同6,293千円の減少)であります。資金の増減の主な内訳は、保険積立金の解約による収入が106,212千円あったものの、保険積立金の積立による支出61,632千円、敷金及び保証金の差入による支出54,000千円、有形固定資産の取得による支出14,458千円があったことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、111,207千円(同280,114千円の減少)であります。資金の減少の主な内訳は、配当金の支払額78,402千円、社債の償還による支出25,850千円があったことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年11月12日に公表いたしました2022年9月期の通期業績予想に変更はありません。第2四半期連結累計期間終了時点において、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、既に通期予想値を上回っています。新型コロナウイルス感染症やロシアのウクライナ侵攻の影響といった不確定要素はありますが、現時点では当社業績は期初想定どおりに推移していくものと見込んでおります。

尚、業績予想につきましては、本資料の発表日現在入手している情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

また、現時点における新型コロナウイルスによる業績への影響は軽微であると考えておりますが、今後、感染拡大が深刻化もしくは長期化した場合や、紛争による世界経済への影響から、当社事業にも大きな影響が出てくる可能性があります。引き続き、事業及び業績に与える影響を精査してまいりますとともに、開示の必要が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2021年9月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (2022年3月31日) |
|----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 5,408,721 | 6,005,621 |
| 受取手形及び売掛金 | 4,820,445 | — |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | — | 7,420,564 |
| 商品及び製品 | 187,184 | 52,683 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,587 | 1,425 |
| その他 | 1,337,528 | 1,327,747 |
| 貸倒引当金 | △436 | △454 |
| 流動資産合計 | 11,755,030 | 14,807,587 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 393,873 | 378,473 |
| 無形固定資産 | 90,822 | 85,856 |
| 投資その他の資産 | 725,114 | 784,390 |
| 固定資産合計 | 1,209,809 | 1,248,720 |
| 資産合計 | 12,964,840 | 16,056,307 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2021年9月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (2022年3月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 4,890,021 | 7,429,516 |
| 1年内償還予定の社債 | 34,600 | 17,500 |
| 未払法人税等 | 205,905 | 277,749 |
| 賞与引当金 | 114,717 | 93,467 |
| 役員賞与引当金 | 24,700 | 8,400 |
| その他 | 1,624,514 | 1,625,035 |
| 流動負債合計 | 6,894,459 | 9,451,668 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 92,500 | 83,750 |
| 退職給付に係る負債 | 351,457 | 384,934 |
| 役員退職慰労引当金 | 386,080 | 419,880 |
| その他 | 80,651 | 86,681 |
| 固定負債合計 | 910,689 | 975,247 |
| 負債合計 | 7,805,148 | 10,426,915 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 539,369 | 539,369 |
| 資本剰余金 | 498,944 | 498,944 |
| 利益剰余金 | 3,883,956 | 4,351,499 |
| 自己株式 | △166 | △166 |
| 株主資本合計 | 4,922,104 | 5,389,647 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 111,718 | 92,860 |
| その他の包括利益累計額合計 | 111,718 | 92,860 |
| 非支配株主持分 | 125,868 | 146,884 |
| 純資産合計 | 5,159,691 | 5,629,392 |
| 負債純資産合計 | 12,964,840 | 16,056,307 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2021年3月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2021年10月1日 至2022年3月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 16,878,960 | 18,756,539 |
| 売上原価 | 14,985,778 | 16,825,785 |
| 売上総利益 | 1,893,181 | 1,930,754 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,042,588 | 1,159,275 |
| 営業利益 | 850,593 | 771,479 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 379 | 373 |
| 受取配当金 | 2,673 | 250 |
| 保険解約返戻金 | 7,074 | 54,000 |
| その他 | 4,862 | 451 |
| 営業外収益合計 | 14,990 | 55,075 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 861 | 580 |
| 支払保証料 | 453 | 318 |
| シンジケートローン手数料 | 1,000 | 1,000 |
| その他 | 311 | 318 |
| 営業外費用合計 | 2,626 | 2,217 |
| 経常利益 | 862,956 | 824,338 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 1,335 | — |
| 特別損失合計 | 1,335 | — |
| 税金等調整前四半期純利益 | 861,620 | 824,338 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 286,518 | 265,883 |
| 法人税等調整額 | △25,849 | △14,533 |
| 法人税等合計 | 260,668 | 251,350 |
| 四半期純利益 | 600,952 | 572,987 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 12,359 | 27,015 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 588,592 | 545,971 |

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 600,952 | 572,987 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 22,934 | △18,857 |
| その他の包括利益合計 | 22,934 | △18,857 |
| 四半期包括利益 | 623,886 | 554,129 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 611,526 | 527,114 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 12,359 | 27,015 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2021年3月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2021年10月1日 至2022年3月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 861,620 | 824,338 |
| 減価償却費 | 46,159 | 46,327 |
| 固定資産売却損 | 1,335 | — |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 79 | 17 |
| 保険解約損益(△は益) | △7,074 | △54,000 |
| 受取利息及び受取配当金 | △3,052 | △623 |
| 支払利息 | 861 | 580 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 116,866 | △2,600,119 |
| 棚卸資産の増減額(△は増加) | 25,402 | 134,662 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 1,468,829 | 2,539,495 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 585 | △21,250 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | 12,725 | 33,800 |
| 役員賞与引当金の増減額(△は減少) | △1,300 | △16,300 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 15,337 | 33,477 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | 119,538 | 40,549 |
| その他の流動資産の増減額(△は増加) | △76,046 | 9,480 |
| その他の流動負債の増減額(△は減少) | 74,311 | △40,162 |
| その他 | △148 | 6,986 |
| 小計 | 2,656,029 | 937,258 |
| 利息及び配当金の受取額 | 3,168 | 907 |
| 利息の支払額 | △782 | △627 |
| 法人税等の支払額 | △17,051 | △195,552 |
| 法人税等の還付額 | 159,104 | — |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,800,468 | 741,985 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △15,094 | △14,458 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 6,352 | — |
| 無形固定資産の取得による支出 | △21,860 | △10,000 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △20,000 | — |
| 投資有価証券の償還による収入 | 10,000 | — |
| 保険積立金の積立による支出 | △3,836 | △61,632 |
| 保険積立金の解約による収入 | 45,945 | 106,212 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | — | △54,000 |
| 投資その他の資産の増減額(△は増加) | △7,800 | — |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △6,293 | △33,878 |

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日) |
|-----------------------|--|--|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入金の返済による支出 | △166,898 | — |
| 社債の償還による支出 | △22,050 | △25,850 |
| リース債務の返済による支出 | △795 | △955 |
| 新株予約権の行使による株式の発行による収入 | 1,000 | — |
| 配当金の支払額 | △87,771 | △78,402 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △3,600 | △6,000 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △280,114 | △111,207 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 2,514,059 | 596,899 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 4,430,782 | 5,388,721 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 6,944,842 | 5,985,621 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。また、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響もありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示しておりました「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。尚、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 合計 | 調整額 (注) 1 | 四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2 |
|-----------------------|----------------------------|------------------|---------|------------|--------------|--------------------------------|
| | メディカルト ータルソリュ ーション事業 | 遠隔画像診断 サービス事業 | 給食事業 | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 16,316,178 | 327,496 | 235,285 | 16,878,960 | — | 16,878,960 |
| セグメント間の内部売 上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 16,316,178 | 327,496 | 235,285 | 16,878,960 | — | 16,878,960 |
| セグメント利益 | 781,387 | 45,615 | 22,102 | 849,104 | 1,488 | 850,593 |

(注) 1. セグメント利益の調整額1,488千円は、セグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 合計 | 調整額 (注) 1 | 四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2 |
|-----------------------|----------------------------|------------------|---------|------------|--------------|--------------------------------|
| | メディカルト ータルソリュ ーション事業 | 遠隔画像診断 サービス事業 | 給食事業 | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 18,225,798 | 331,588 | 199,153 | 18,756,539 | — | 18,756,539 |
| セグメント間の内部売 上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 18,225,798 | 331,588 | 199,153 | 18,756,539 | — | 18,756,539 |
| セグメント利益 | 724,880 | 40,993 | 4,185 | 770,060 | 1,419 | 771,479 |

(注) 1. セグメント利益の調整額 1,419千円は、セグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。